



農林水産業費
24億6690万円

多面的機能支払事業
(多面的機能支払交付金など)
2億966万円

環境保全型農業支援事業

問 イノシシ対策として行った新たな取り組みは。

取り組みは。

答 田原市鳥獣被害対策協議会を設立し、国・県の補助金を確保して捕獲者へ報奨金を支出した。また、県設立の渥美半島野生イノシシ捕獲根絶協議会へ参画し、根絶に取り組んでいる。

問 捕獲数が平成30年度の278頭に對して令和元年度は477頭と大きく伸びているが、その要因は。

答 大きな要因として、捕獲単価を成獣1頭当たり1万円から3万円に見直しを図ったということもあるが、豚熱の蔓延により捕獲者の方が非常に危機感を持って取り組んでくださったことも増加につながっているものと考えている。



商工費
6億9957万円

中小企業活性化支援事業
(プレミアム付商品券事業負担金など)
1億7825万円

観光推進事業

問 第2回どんぶりサミットの評価は。

答 2日間で田原市内外から4万1千人の来場があり、会場内での売上のほか公共交通機関やコンビニ、道の駅などの利用による消費機会の拡大など、経済効果につながった。また、特産物の紹介、SNSによるイベント内容の拡散、メディアでの露出などによる本市の認知度の向上、交流人口の拡大にもつながったと感じている。

問 第1回とは違う課題も見えたのか。

答 午前中に、人気の高いブースに来場者が集中した状況があったため、来場者が均等に分散するような会場レイアウトが必要であること、午後からの集客がかなり落ちたため、集客を促すために連動して行うイベントが必要であることなどの課題が残った。



教育費
46億6607万円

伊良湖岬小学校整備事業
(伊良湖岬小学校新築工事など)
4億1741万円

中高一貫教育の取り組み

問 福江中学校と福江高校の連携型中高一貫校の評価は。

答 高一生徒にとっても教員にとっても交流の広がりや深まりが見られる。

問 中高の6年間で生徒を育てることのことが、その狙いへの評価は。

答 平成28年の田原市中高一貫教育推進委員会設置以来、両校は交流の幅を広げ充実を図ってきた。小学校も含め12年間に渡り地域に根差した教育が可能になる。

図書館運営事業

問 障害者・高齢者サービスの内容は。

答 障害のある方には、資料の郵送、録音図書再生機や触る絵本の貸し出し。高齢者や高齢者福祉施設には、図書や大活字本を届けた。

問 議会支援サービスの取り組みは。

答 調査・相談、資料の貸し出しや複写、議会活動の紹介展示を行った。

特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

※万円未満切り捨て

会計	区分	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引額(A)-(B)
特別会計	国民健康保険	79億7045万円	78億9413万円	7632万円
	公共下水道事業	16億7131万円	15億5557万円	1億1574万円
	農業集落排水事業	7億6064万円	6億6364万円	9700万円
	田原福祉専門学校	9666万円	9665万円	1万円
	後期高齢者医療	7億9387万円	7億9158万円	229万円
水道事業会計(企業会計)	収益的収支	12億7073万円	12億1335万円	5738万円
	資本的収支	2億6190万円	5億6599万円	▲3億409万円

*水道事業会計(資本的収支)の不足分は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされました。